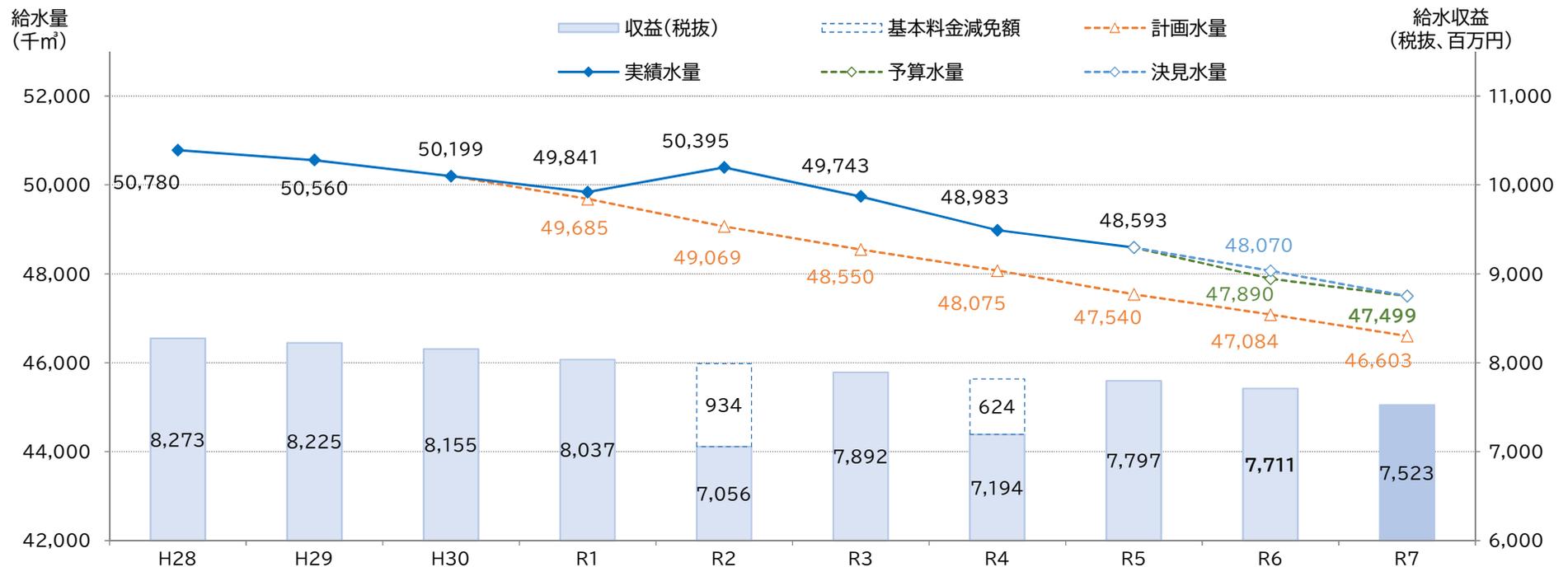


<水道事業会計>

1. 業務の概要

区	分	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
給水戸数		252,700 戸	251,200 戸	1,500 戸	0.6%
給水量 ※	年間総量	47,499,000 m ³	47,890,000 m ³	△ 391,000 m ³	△ 0.8%

※ 給水量 = お客さまが実際に使用する水の量

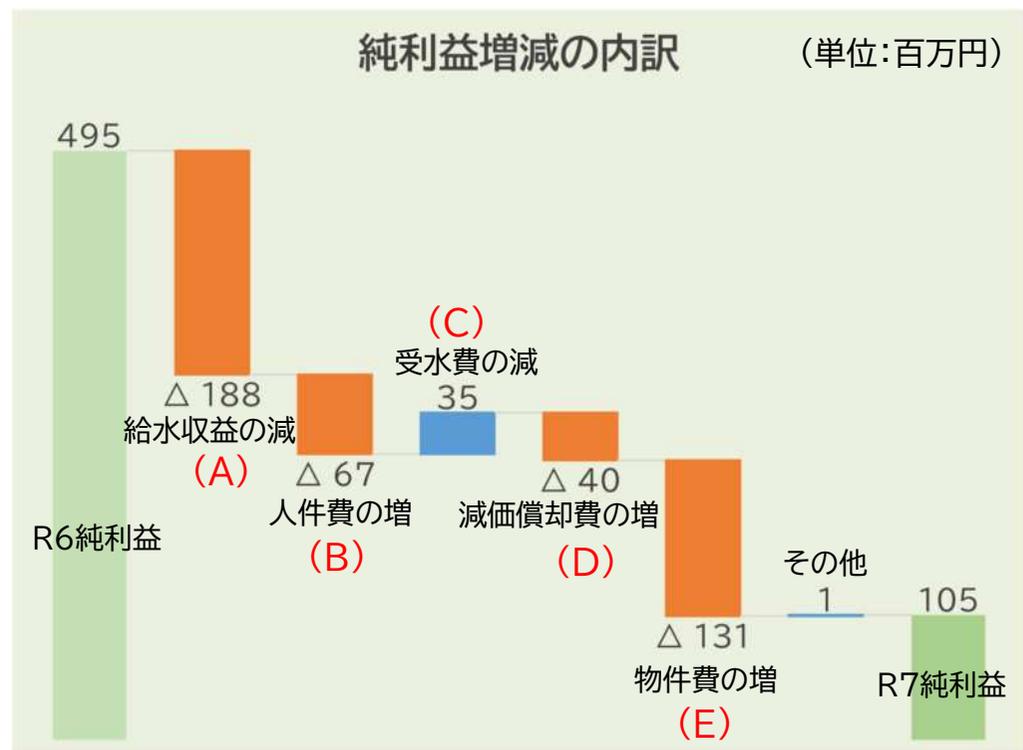


- ◆ 給水戸数は、前年度に比べ1,500戸の増加、年間給水量は前年度に比べ0.8%減となる4,750万m³
- ◆ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による在宅時間の増加などにより一時的に給水量が増加したが、その後は再び減少傾向

2. 収益的収支と資本的収支(フローの視点)

(税込、単位:百万円)

区分		令和7年度	令和6年度	増減額	増減率	
収益的収支	経常損益	収入	9,339	9,540	① Δ 201	Δ 2.1%
		支出	9,142	8,936	② 206	2.3%
		差引	197	604	Δ 407	
	特別損益	収入	79	82	③ Δ 3	Δ 3.7%
		支出	5	5	0	0.0%
		差引	74	77	Δ 3	
合計 (当年度純利益)		271 ④ (105)	681 (495)	Δ 410 (Δ 390)		
資本的収支	収入	1,178	766	⑤ 412	53.8%	
	支出	2,924	3,147	⑥ Δ 223	Δ 7.1%	
	差引(ア)	Δ 1,746	Δ 2,381	635		
補てん財源(イ)		1,794	2,155	Δ 361	Δ 16.8%	
資金収支(ア+イ)		48	Δ 226	274		
資金残高		⑦ 6,718	6,670	48		



- 公営企業会計では、**収益的収支**と**資本的収支**に分けて経理
 - ・ **収益的収支**：日々の営業活動などに必要な経費
 - ・ **資本的収支**：施設の改良などに必要な経費
- 建設改良費や企業債の返済によって生じる資本的収支の不足額に対する**補てん財源**
 - ・ 収益的収支で生じる純利益
 - ・ 収益的収支の支出に含まれるが、実際は現金支出を伴わない減価償却費等（損益勘定留保資金）

- ◆ 収益的収支の収入全体は2億円減少（①、③）、支出全体は2億1千万円増加（②）、純利益は3億9千万円減少して1億1千万円（④）の見込み
- ◆ 資本的収支の収入は4億1千万円増加（⑤）、支出は2億2千万円減少（⑥）の見込み
- ◆ 資本的収支で不足する17億5千万円は、損益勘定留保資金などの自己財源で補てんし、年度末の資金残高は67億2千万円（⑦）の見込み

収益的収支(1/2)

収益的収入

(税込、単位:千円)

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額	主な増減理由
水道事業収益	9,418,220	9,621,990	△ 203,770	
經常収益	9,339,127	9,540,045	△ 200,918	
給水収益	8,275,434	8,482,020	(A) △ 206,586	給水量△0.8%
長期前受金戻入	127,022	133,659	△ 6,637	
その他収益	936,671	924,366	12,305	分担金の増
特別利益	79,093	81,945	△ 2,852	阪神水道企業団からの返還金

収益的支出

(税込、単位:千円)

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額	主な増減理由
水道事業費用	9,147,356	8,941,030	206,326	
經常費用	9,142,356	8,936,030	206,326	
人件費	935,625	869,204	(B) 66,421	
給料・手当等	868,721	834,289	34,432	職員数+2人(104人←102人)
退職給付費	66,904	34,915	31,989	
動力費	137,400	140,441	△ 3,041	
薬品費	41,698	35,798	5,900	薬品単価の増
受水費	3,899,973	3,937,573	(C) △ 37,600	阪神水道企業団の受水費の減
減価償却費	1,627,370	1,586,716	(D) 40,654	配水管更新による増
資産減耗費	45,553	28,842	16,711	活性炭入替による増
支払利息	148,236	166,782	△ 18,546	平均借入利率の減
物件費	2,306,501	2,170,674	(E) 135,827	修繕費、委託料の増
特別損失	5,000	5,000	-	

収益的収支(2 / 2)

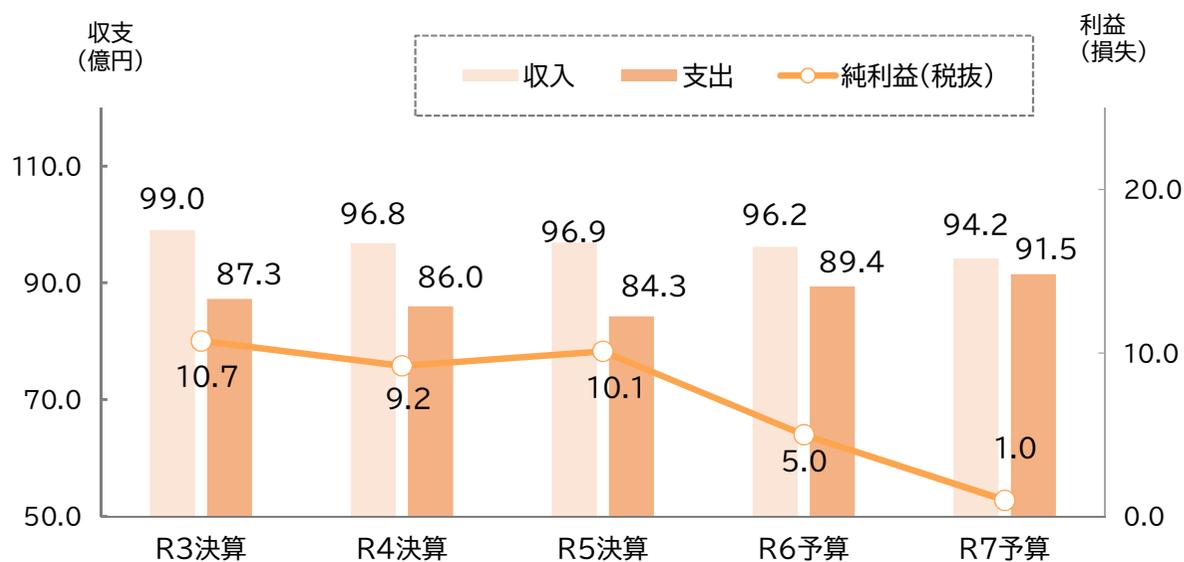
収益的収入

- ◆ 給水量は前年度から0.8%減少し、給水収益は2億1千万円の減

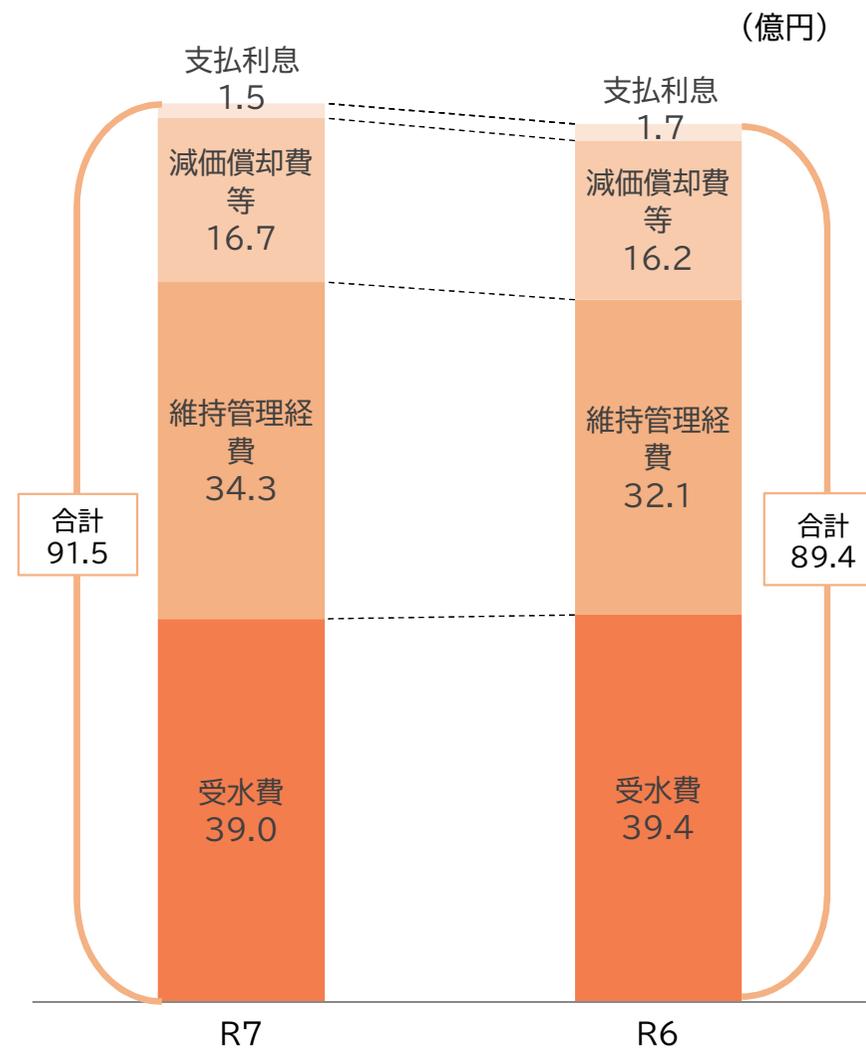
収益的支出

- ◆ 阪神水道企業団の受水費は明石市加入により減少するものの、人件費や物件費の増などにより、2億1千万円の増

収益的収支の収入・支出の推移



収益的支出の比較



資本的収支

資本的収入 (税込、単位:千円)

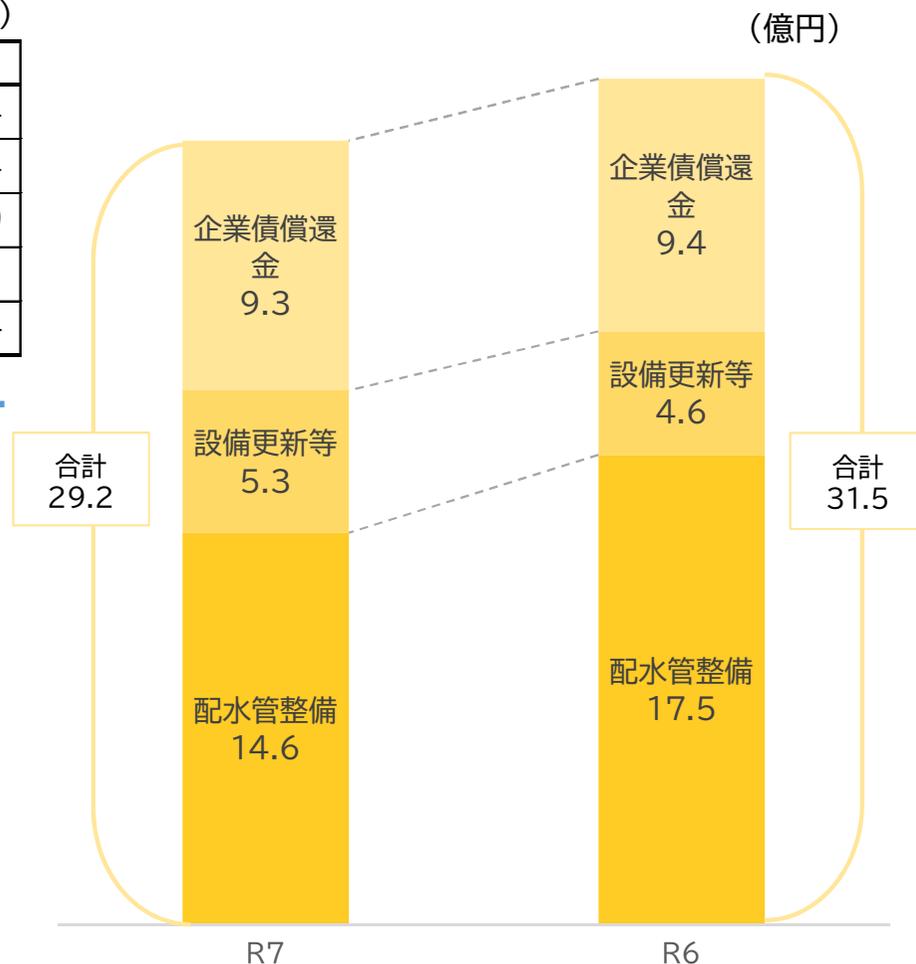
款 項 目	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業資本的収入	1,178,342	766,573	411,769
企業債	1,100,000	700,000	400,000
負担金	78,341	66,572	11,769
固定資産売却代	1	1	-

資本的支出 (税込、単位:千円)

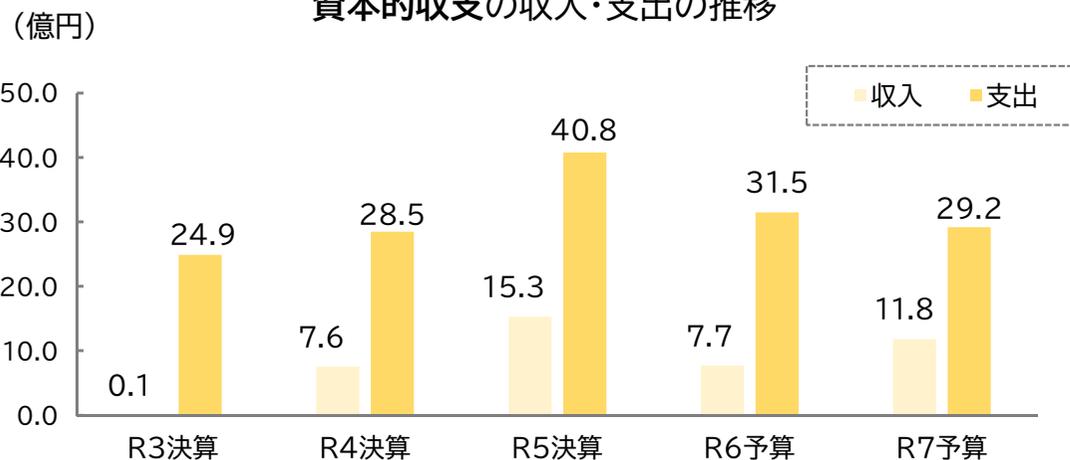
款 項 目	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業資本的支出	2,923,792	3,147,376	△ 223,584
人件費	141,433	144,947	△ 3,514
建設改良費	1,850,478	2,055,277	△ 204,799
企業債償還金	928,881	944,152	△ 15,271
予備費	3,000	3,000	-

- ◆ 資本的収入では、企業債借入額の増加などにより、4億1千万円の増
- ◆ 資本的支出では、配水管整備工事の減少などにより、2億2千万円の減

資本的支出の比較

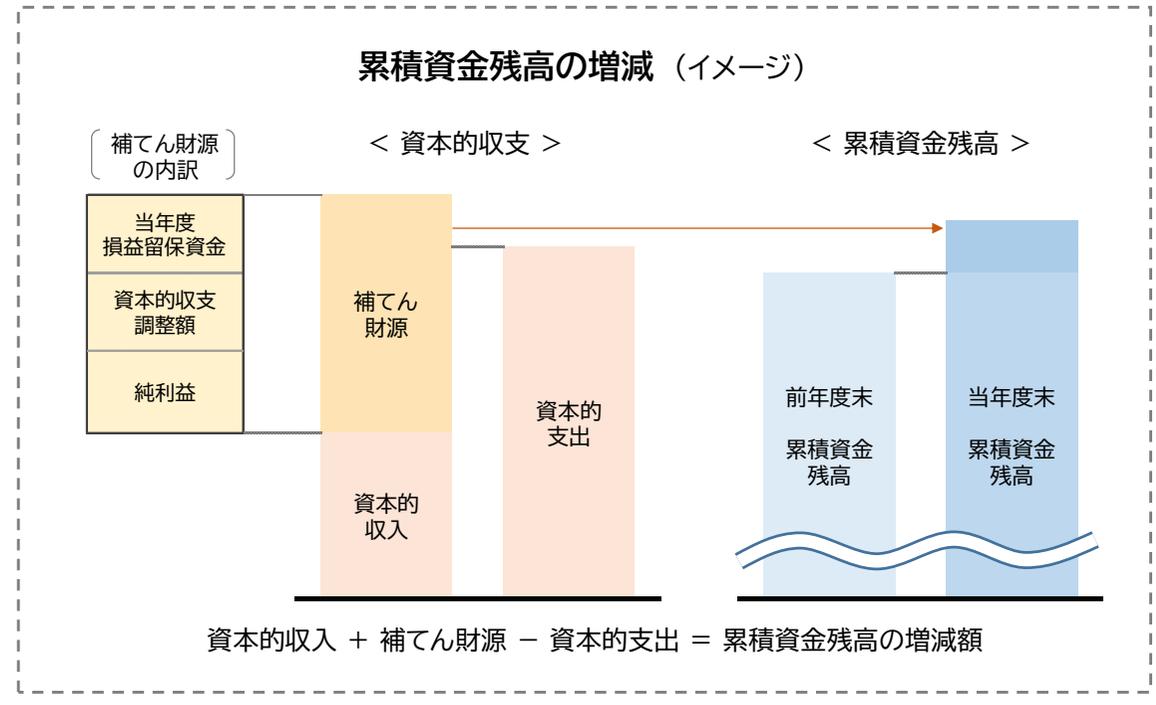
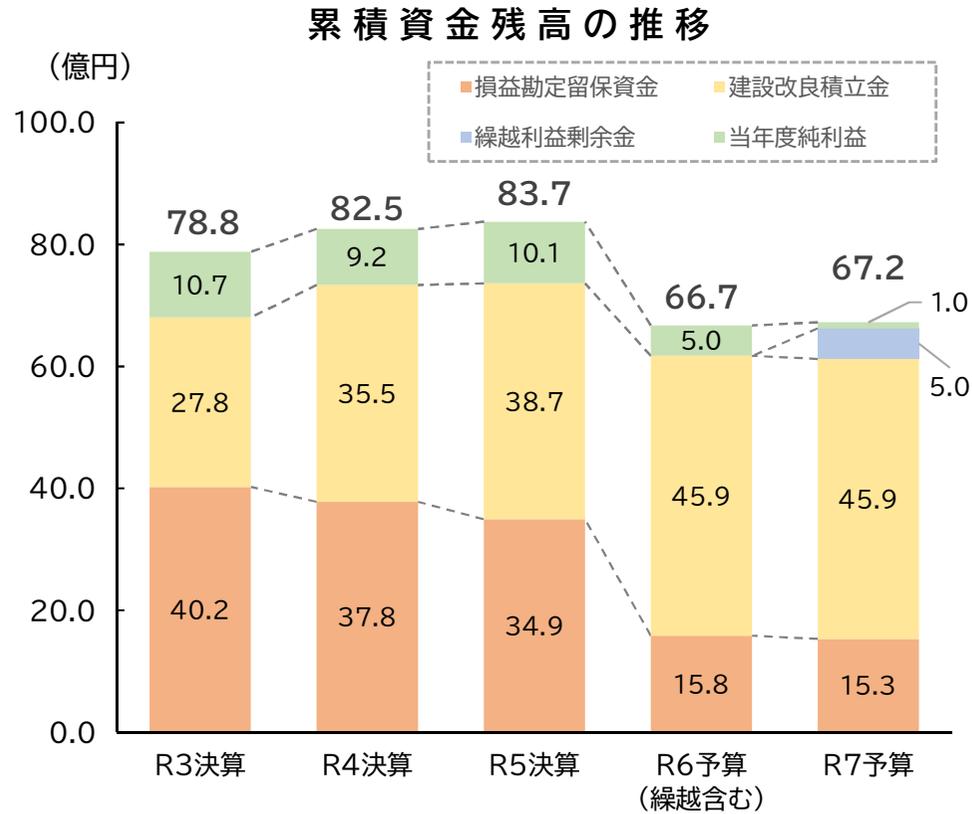


資本的収支の収入・支出の推移



3. 累積資金残高と企業債(ストックの視点)

累積資金残高



◆ 令和7年度末の累積資金残高は、令和6年度末と比較して5千万円増加し、67億2千万円の見込み

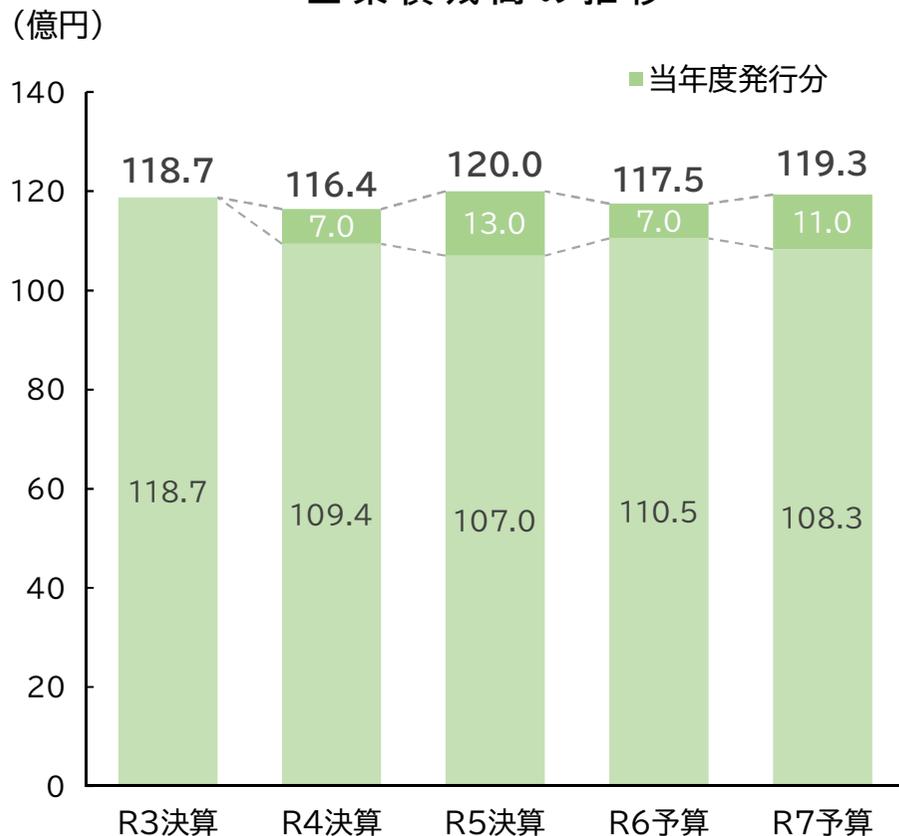
資金収支の推移

(単位:百万円)

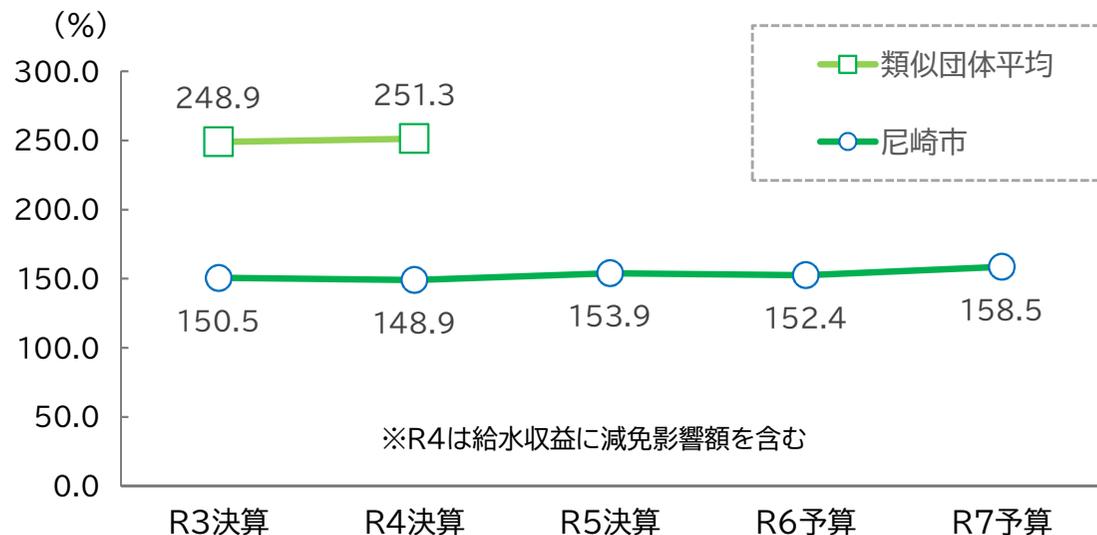
	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算 (繰越含む)	R7予算
資本的収支の差(A)	△ 2,482	△ 2,096	△ 2,550	△ 3,951	△ 1,746
補てん財源(B)	2,551	2,474	2,671	2,246	1,794
資金収支(A+B)	69	378	121	△ 1,705	48

企業債

企業債残高の推移



企業債残高対給水収益比率の推移



企業債残高給水収益比率 = 企業債残高 ÷ 給水収益
 ※類似団体は給水人口30万人以上の末端給水事業

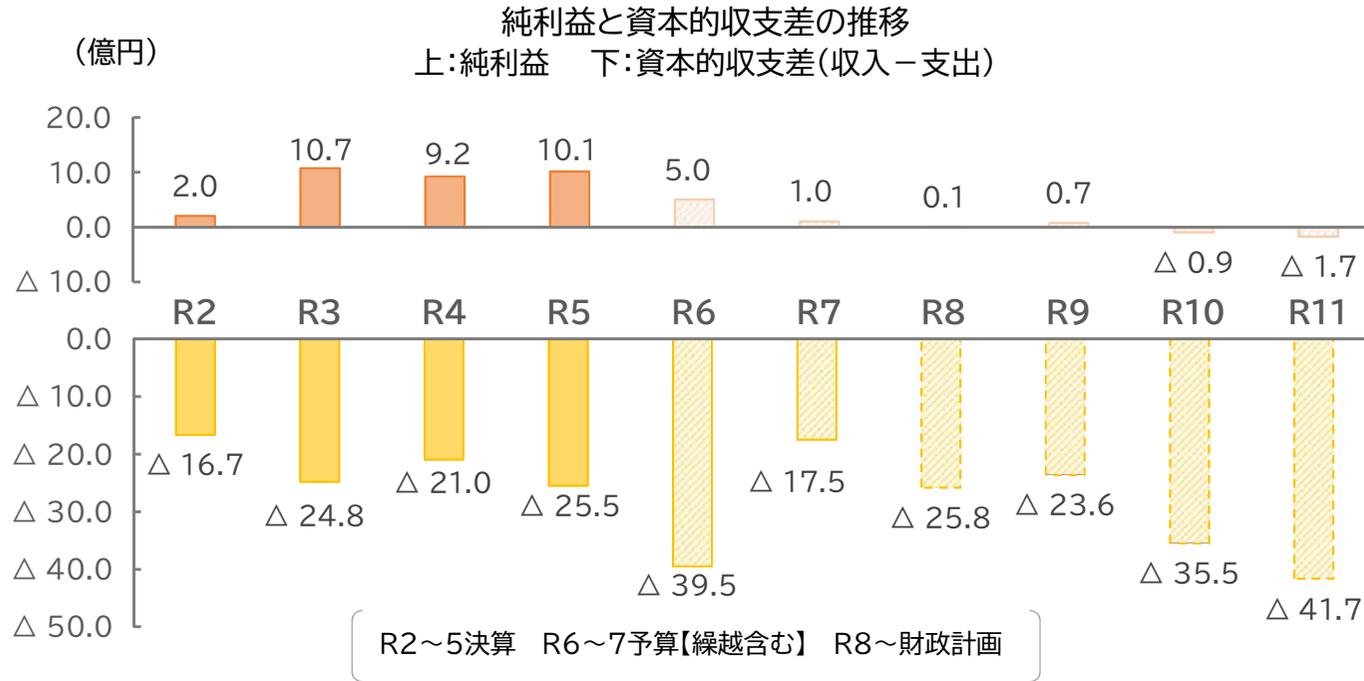
企業債の発行・償還・残高の増減

(単位:百万円)

	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	R7予算
発行額(A)	0	700	1,300	700	1,100
償還額(B)	905	936	940	944	929
残高の増減(A - B)	△ 905	△ 236	360	△ 244	171

- ◆ 他の類似団体と給水収益との比率で比較すると、企業債残高は良好な状況
- ◆ 令和7年度末の企業債は、11億円の発行と9億3千万円の償還を予定し、令和6年度末と比べ、1億7千万円の増加の見込み

4. 財政計画（今後の見通し）



- ◆ 配水管の整備や神崎浄水場の再整備に係る費用の増加などにより、令和7年度以降の企業債残高は増加し、累積資金残高は減少の見込み

